

## 第 115 回・日商簿記検定試験 3 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
未収金	前払金	仮払金	備品
貸付金	支払手形	買掛金	未払金
前受金	仮受金	備品減価償却累計額	資本金
売上	受取手数料	固定資産売却益	仕入
旅費交通費	固定資産売却損	支払手数料	雑益
雑損	現金過不足		

1. 現金の実際有高が帳簿残高より多かったため、現金過不足勘定で処理されていた 10,000 円のうち、6,000 円は受取手数料の記入漏れであることが決算日にいたり判明した。残額については不明のため、適当な科目に振り替えることにした。
2. 商品 96,000 円を掛けで売り渡した取引を、借方・貸方とも誤って 69,000 円と記入されていたので、正しい金額に修正した。
3. 商品 200,000 円を仕入れ、代金のうち 150,000 円はすでに支払ってある手付金で充当し、残額は掛けとした。
4. 不要となった備品（取得原価 300,000 円、減価償却累計額 100,000 円、間接法で記帳）を期首に処分し、売却代金 50,000 円は後日受け取ることにした。
5. 従業員の出張に際し、旅費の概算額 100,000 円を現金で手渡した。